・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A類　・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工
・建具表による　・

・ ガラスブロック積み　[5.14.5]

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による　・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・
寸法
※径5.5mm　・
形状
※はしご形状複筋及び単筋
・
化粧目地モルタルの色（・ガラスブロック製造所の指定による　・　）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による　・
形状
※図示による　・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム G	・SC-1	・SC-2	
⊙低放射フィルム	⊙-E		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		
⊙目隠しフィルム			

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲　[6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

⊙ 既存床の撤去及び下地補修　[6.2.2]
ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
⊙機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による　・

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修　[6.3.2]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示による）
・

⊙ 施工一般　[6.5.2]
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による
・

・ 製材 G　[6.5.2]

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種 ・B種		・
		※2級 ・	※A種 ・B種		・
		※2級 ・	※A種 ・B種		・

・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種		・
					・

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		（　） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（　） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（　） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・

⊙ 造作用集成材 G　[6.5.2]

・JAS 1152に基づく造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
図示	図示	スプルース	図示		※1等 ・2等	・
図示	図示	タモ	図示		※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・

・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

・JAS 1152 以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

⊙ 造作用単板積層材 G　[6.5.2]

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
図示 図示	図示 図示	スプルース タモ	図示 図示	・適用する ⊙適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・

⊙ 合板等

・JAS 0233に基づく普通合板 G　[6.5.2]

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 0233に基づく構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
図示	※2級以上 ・1級	図示	※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ⊙図示	・適用する ⊙適用しない	・適用する （　） ⊙適用しない	・

保存処理の適用　・適用する　・適用しない

・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・JAS 0233に基づく天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類				・適用する ・適用しない

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ ・	※PタイプⅠ又はⅡタイプ ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	品名	厚さ（mm）

・JIS A 5905に基づくミディアムデンシティファイバーボード（MDF） G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

⊙ 接合具等　[6.5.3]
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

⊙ 接着剤　[6.5.3、4]
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆
・

・ 防腐・防蟻処理　[6.5.5]
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分 ・K2	・K3	・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（　）
・ラワン材及びなら材の防虫処理
保存処理性能区分（※ K-1　・　）
・不燃処理木材等の使用
適用部位（・図示による　・　）

・ 内部間仕切軸組及び床組み　[6.5.6]
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・

⊙ 窓、出入口その他　[6.5.7]
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

⊙ 軽量鉄骨天井下地　[6.6.2~4]
野縁等の種類
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による　・
周辺部の端からの間隔
・図示による　・
野縁の間隔
・図示による　・
既存の埋込みインサート
⊙使用する　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所
・（　）箇所
引張試験にて確認する強度　※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（　）N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　）
（補強方法　※図示による　・　）
・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性能を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　）
（補強方法　※図示による　・　）

承認	審査	検図	製図	特記

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号 25037

工事名称 大船渡中学校統合改修（建築・機械設備）工事

図面内容 建築改修工事特記仕様書 5

縮尺 A-1 1:100 A-3 1:200

図面区分 建築意匠

図面番号 A-1005